



志木二中だより

「勇気」 前に向かう強い心をもつ生徒

「信頼」 静かに考え他を認め励ます生徒

令和5年度7月号
令和5年7月3日(月)
志木市立志木第二中学校
志木市館 1-3-1
TEL:048-473-2379

暑さに負けない二中生たちの輝き その1

校長 三杉 紀文

大人も子どもも、油断すると夏バテをしてしまうかもしれない時期です。室内と室外の温度差や、水分や塩分不足など要因はさまざまですが、体調にはくれぐれも気を付けていきたいです。

さて、過日の5月29日(土)は、お陰様で天候にも恵まれ、3年ぶりに参観人数制限なしの形で体育祭を行うことができました。そしてその取組を通して、生徒たちの様々な成長ぶりを目にする事ができました。1年生は、学級ごとに作戦会議を行ったり、中には自分たちの学級の練習ぶりの分析やみんなで気を付けるべき点を自主的にレポートにまとめてパソコン上で共有したりしている姿もありました。2年生は、学年練習も体育委員の号令で始まるなど、練習の進行自体を生徒たちが主体になって行っていました。3年生は、練習への取り掛かり方、盛り上がり方などで、練習の初期段階から1・2年生を牽引していました。最後の体育祭にかける想いを感じさせられました。



競技だけでなく、当日のテントや机は野球部やサッカー部の生徒たちが準備しました。機械的にやるのではなく、状況を見ながら「それも運びますか?」「雑巾でふきますか?」と自ら聞く生徒たちもいます。障害物競走の麻袋は、レースごとに用具係がゴールと麻袋配置場所を往復して準備していたのですが、担当の生徒たちはただ麻袋を置くのではなく、毎回袋を整え、袋の口の開閉まで確認していました。監察係は自分の担当の場所までダッシュで移動し、紅白の旗をレースごとに責任をもってあげていました。状況を見て自分たちでトラックのラインを引き直す体育委員、体育祭後に教室へ戻る生徒たちの椅子の足を、来た順に学年・学級関係なく拭いて回る環境安全委員など、枚挙に暇がないほど、生徒たちの動きに感心させられる機会が多くありました。

また、6月17日(土)からは、朝霞地区学校総合体育大会がありました。気温が上がった中、各会場に応援に駆けつけて下さった皆様には感謝申し上げます。結果としては、卓球部女子が団体と個人ダブルス1ペア、バドミントン部は男女それぞれの団体と個人ダブルス2ペア、女子シングル1名、剣道部は男子個人1名が、県大会への出場を果たしました。また、そうした戦績だけでなく、思わず見る者を熱くさせる数々の場面がありました。その生徒たちの頑張りの様子的一端については、次号の学校だよりで改めてご紹介させていただきますが、まず真摯な姿勢を貫いた生徒たちに心から拍手を送ります。